

# 第4次加須市高齢者支援計画の進行管理 【令和5年度の実績と評価】

令和6年7月

# 目 次

○ 評価基準について	3・4ページ
○ 評価結果の概要	5～7ページ
○ 各事業（取組）の達成度評価	8～49ページ

## 第1章 高齢者の健康づくりと介護予防の推進

ページ

### 第1節 高齢者の健康づくり

No.1 生活習慣病の予防	8
No.2 健康相談	8
No.3 こころの健康づくり	9
No.4 感染症の予防・重症化の防止	9
No.5 骨粗しょう症の予防	10
No.6 成人歯科保健の推進	10
No.7 がん検診	10
No.8 国保健診（特定健康診査）等	11
No.9 人間ドック・脳ドックの利用促進	12

### 第2節 高齢者の介護予防

No.1 要介護状態となるおそれのある高齢者の把握	13
No.2 市独自の体操などを活用した介護予防の啓発	13
No.3 筋力アップトレーニングの普及	13
No.4 通いの場（ふれあいサロン）の拡充	14
No.5 リハビリテーション専門職との連携の推進	14
No.6 多様な訪問・通所サービスの提供	14
No.7 生涯学習活動の推進	15
No.8 スポーツ教室の推進	15
No.9 グラウンド・ゴルフの推進	15
No.10 ウォーキングの推進	16
No.11 シルバー人材センターへの支援	16
No.12 高齢者の雇用促進	16
No.13 世代間交流の推進	17
No.14 高齢者の会食事業などへの支援	17
No.15 元気な高齢者のボランティア活動への参加の促進	17
No.16 学校応援団への参加の推進	18
No.17 生きがい農業の推進	18
No.18 老人クラブの活動支援	18
No.19 健康福祉センター等の活用	19

### 第3節 高齢者の健康づくりと介護予防の一体的な実施

No.1 高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施	20
--------------------------	----

## 第2章 高齢者の日常生活を支える体制づくり

ページ

### 第1節 相談支援等の体制の充実

No.1 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の機能強化	21
No.2 相談窓口及び福祉サービス等の周知	21
No.3 地域ケア会議の活用の推進	21

### 第2節 高齢者福祉サービスの充実

No.1 敬老事業の推進	22
No.2 緊急通報システムの普及	22
No.3 配食サービスの普及	22
No.4 コミュニティバス等による高齢者の移動支援	23
No.5 生活困窮者等の自立の支援	23
No.6 介護サービスの利用に係る負担の軽減	23

### 第3節 家族介護者への支援の充実

No.1 介護休業等制度の周知	24
No.2 介護知識等の普及及び家族介護者の交流の推進	24
No.3 家族介護者慰労金の支給	24
No.4 家族介護用品の支給	25

### 第4節 高齢者の居住支援

No.1 高齢者の安定的な生活の場の確保	26
No.2 住宅改修の支援	26

### 第5節 地域で高齢者を支え合う仕組みづくり

No.1 自治協力団体への加入の促進	27
No.2 地域通貨を活用した地域福祉サービスの普及	27
No.3 地域ブロンズ会議の設置・活動の推進	27
No.4 交通安全対策の推進	28
No.5 防犯対策の推進	28
No.6 消費者被害の防止	28
No.7 協力事業者による見守り体制の構築	29
No.8 行方不明者の早期発見支援	29
No.9 災害時要援護者への支援	29

### 第3章 認知症の人とその家族等にやさしい地域づくり ページ

#### 第1節 認知症に関する普及啓発・本人発信の支援

No.1 認知症への理解の促進	30
No.2 認知症に関する相談体制の周知	30
No.3 認知症の本人による発信機会の拡大	30

#### 第2節 認知症予防活動の推進

No.1 認知症予防体操の普及	31
No.2 通いの場（ふれあいサロン）の拡充【再掲】	31
No.3 生涯学習活動の推進【再掲】	31
No.4 スポーツ教室の推進【再掲】	31
No.5 グラウンド・ゴルフの推進【再掲】	32
No.6 ウォーキングの推進【再掲】	32
No.7 シルバー人材センターへの支援【再掲】	32
No.8 高齢者の雇用促進【再掲】	32
No.9 世代間交流の推進【再掲】	32
No.10 高齢者の会食事業などへの支援【再掲】	33
No.11 元気な高齢者のボランティア活動への参加の促進【再掲】	33
No.12 学校応援団への参加の推進【再掲】	33
No.13 生きがい農業の推進【再掲】	33
No.14 老人クラブの活動支援【再掲】	33

#### 第3節 認知症の人とその家族等への支援

No.1 認知症ケアパスによる情報提供	34
No.2 認知症地域支援推進員による支援	34
No.3 認知症初期集中支援チームによる支援	34
No.4 関係機関の連携による切れ目のない支援	35
No.5 成年後見制度の利用促進	35
No.6 高齢者虐待の防止	35
No.7 行方不明時の早期発見・保護	36
No.8 防犯対策の推進【再掲】	36
No.9 消費者被害の防止【再掲】	36
No.10 認知症の人の社会参加の促進（認知症カフェの普及等）	37
No.11 認知症の人の日常生活への支援（チームオレンジの整備）	37
No.12 認知症の特性を踏まえた介護サービスの提供・確保	37

### 第4章 在宅医療・介護サービス提供体制等の充実 ページ

#### 第1節 在宅医療・介護連携の推進

No.1 在宅医療・介護連携の推進	38
-------------------	----

#### 第2節 特別養護老人ホーム等介護施設の整備

No.1 特別養護老人ホーム等介護施設の整備	39
------------------------	----

#### 第3節 介護人材の確保及び介護業務の効率化

No.1 介護人材の確保及び資質の向上	40
No.2 介護業務の効率化及び質の向上	40

### 第5章 高齢者の安心安全のための災害・感染症への備え ページ

#### 第1節 災害に対する備え

No.1 災害に対する備え	41
---------------	----

#### 第2節 感染症に対する備え

No.1 感染症に対する備え	42
----------------	----

### 第6章 介護保険制度の安定的な運営 ページ

#### 第1節 介護保険料の収納確保

No.1 介護保険料の収納確保	43
-----------------	----

#### 第2節 介護給付の適正化

No.1 介護給付の適正化	44
---------------	----

## 評価基準について

### 1 各事業（取組）の達成度評価基準

#### 《評価基準》

事業（取組）の実施状況及び事業実施による効果として、成果指標の達成状況により評価を行う。

評価	達成度評価基準
1 目標を達成	当該年度に実施すべき取組を予定どおり、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成したものをいう。
2 概ね達成	当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
3 やや遅れている	当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4 大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。

#### 《指標の設定がない場合の評価基準》

事業（取組）の実施状況を判断基準として評価する。

評価	達成度評価基準
2 概ね達成	当該年度に実施すべき取組を円滑に行えた。
3 やや遅れている	当該年度に実施すべき取組のうち、いくつか遅れが生じている。
4 大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっている。

## 2 基本目標レベル（大分類）での達成度評価基準

《評価基準》

各事業（取組）の達成度評価の結果を基に、次の評価基準で判定する。

評価	達成度評価基準
① 計画どおり達成できた	基本目標に係る全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
② 概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
③ やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
④ 達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

## 3 計画全体の成果判断基準

《評価基準》

次の成果判断基準に基づき、基本目標レベルごとに設定した数値目標に対する実績値で成果の状況を判定する。

評価	成果判断基準
A 非常に成果があった	全ての数値目標が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合。 「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定した全ての数値目標の実績値が目標値を100%以上達したものをいう。
B 相当程度成果があった	一部の数値目標が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。 「概ね成果が得られたとみなせる」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の80%以上達したものをいう。
C 一定の成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。 「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
D 成果がなかった	数値目標と実績値に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。 「数値目標と実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。

## 評価結果の概要

### 1 基本目標レベル(大分類)での達成度評価

基本目標（大分類）	評価	理由
1 高齢者の健康づくりと介護予防の推進	③ やや達成できなかった	取組の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった取組数の割合が67.6%（23/34取組）と、80%未満にとどまったため。
2 高齢者の日常生活を支える体制づくり	③ やや達成できなかった	取組の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった取組数の割合が79.2%（19/24取組）と、80%未満にとどまったため。
3 認知症の人とその家族等にやさしい地域づくり	③ やや達成できなかった	取組の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった取組数の割合が75.9%（22/29取組）と、80%未満にとどまったため。
4 在宅医療・介護サービス提供体制等の充実	③ やや達成できなかった	取組の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった取組数の割合が50.0%（2/4取組）と、80%未満にとどまったため。
5 高齢者の安心安全のための災害・感染症への備え	① 計画どおり達成できた	全ての取組（4/4取組）の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となったため。
6 介護保険制度の安定的な運営	③ やや達成できなかった	取組の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった取組数の割合が71.4%（5/7取組）と、80%未満にとどまったため。

## 2 基本目標レベル(大分類)ごとに設定した目標値に対する評価

No.	基本目標（大分類）	評価	目標指標・目標値・実績	
1	高齢者の健康づくりと介護予防の推進	B 相当程度成果があった	目標指標・目標値	市民が介護が必要な状態となる年齢（平均）を1歳遅らせ、82.2歳にします。 目標値（令和5年度）：82.2歳（参考）令和元年度：81.2歳
			令和5年度実績	81.1歳
2	高齢者の日常生活を支える体制づくり	A 非常に成果があった	目標指標・目標値	全ての社会福祉協議会支部の活動区域（全16地域）に第2層のブロンズ会議を設置し、ブロンズ会議が主体の介護予防や生活支援の具体的な取組が始まるようにします。 目標値（令和5年度）：16箇所（参考）令和元年度：2箇所
			令和5年度実績	16箇所
3	認知症の人とその家族等にやさしい地域づくり	C 一定の成果があった	目標指標・目標値	地域において認知症の人とその家族などを応援する認知症サポーターの養成人数（累計）を6,200人以上にします。 目標値（令和5年度）：6,200人（参考）令和2年度：5,002人
			令和5年度実績	5,995人
			目標指標・目標値	全ての日常生活圏域（全6箇所）にチームオレンジを設置し、チームオレンジに参加してより実践的な支援を行う認知症サポーターを60人養成します。 目標値（令和5年度）：6箇所・60人
			令和5年度実績	3箇所・32人
4	在宅医療・介護サービス提供体制等の充実	A 非常に成果があった	目標指標・目標値	新たに介護施設などに従事する介護人材を95人確保し、市内の介護施設などに従事する介護職員などの数を1,995人にします。 目標値（令和5年度）：1,995人（参考）令和2年度：1,900人
			令和5年度実績	2,007人（うち新規に開設された事業所（5か所）に配置された介護人材29人）
5	高齢者の安心安全のための災害・感染症への備え	A 非常に成果があった	目標指標・目標値	災害時要援護者名簿に登録されている人のうち、避難援助者がいる人の割合を43%に引き上げます。 目標値（令和5年度）：43%（参考）令和元年度：41%
			令和5年度実績	47.1%
			目標指標・目標値	市内の全ての介護施設などで、非常災害対策と感染症対策が実施されるようにします。 目標値（令和5年度）：100%（参考）令和2年度：87.9%
			令和5年度実績	99.2%
6	介護保険制度の安定的な運営	A 非常に成果があった	目標指標・目標値	介護保険料（全体）の収納率を99%に引き上げます。 目標値（令和5年度）：99%（参考）令和元年度：97.3%
			令和5年度実績	97.6%
			目標指標・目標値	在宅サービスに係る介護給付費の1人当たり給付月額を1%減らします。 目標値（令和5年度）：113,320円（参考）令和2年度：114,468円
			令和5年度実績	107,745円

### 3 計画全体の成果判断

成果	理由
C 一定の成果があった	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="696 488 1939 580">■ 5ページの「1」のとおり、基本目標レベル（大分類）での達成度評価は、6つのうち1つの基本目標で「計画どおり達成できた」という結果となった。なお、「やや達成できなかった」と評価した5つの基本目標のうち、取組の実績が「目標を達成」又は「概ね達成」となった割合が7割以上8割未満となったものが、3つあった。</li> <li data-bbox="696 639 1939 699">■ 6ページの「2」のとおり、基本目標レベル（大分類）ごとに設定した目標値に対する実績は、6つの全ての基本目標で「非常に成果があった」、「相当程度成果があった」又は「一定の成果があった」という結果となった。</li> <li data-bbox="696 730 1939 790">■ 以上のことから、各事業（取組）による一定の成果が得られたと考えられるため、計画全体の成果判断を左記のとおりとする。</li> </ul>

## ■各事業（取組）の達成度評価

### 第1章 高齢者の健康づくりと介護予防の推進

#### 第1節 高齢者の健康づくり

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	生活習慣病の 予防	2・ 概ね 達成	指標(単位)	生活習慣病予防講座等（健康講座）への65歳以上の延べ出席者数（人）			・引き続き健診等の保健事業の機会を積極的に活用し、講座等を開催することで、健康に関する正しい知識の普及啓発や生活習慣を見直すきっかけづくりを行っていく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1,620	1,620	1,620	
			実績	1,302	1,398	1,441	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業の教室と一体化した生活習慣病予防講座を各地域にて開催（医師出前講座、運動、栄養、歯の講座、病態別出前講座等）</li> <li>・eスポーツ教室の開催</li> <li>・健康手帳の交付（新40歳への郵送等）</li> <li>・各地域の市民まつりと健康まつりの同時開催</li> <li>・かぞ健康マイレージの実施</li> <li>・公共施設の敷地内禁煙継続、飲酒・喫煙の害の啓発</li> </ul> <p>・新型コロナウイルスが5類になったことに伴い、講座等への参加者数が増え、目標値の約9割に達していることから本評価とした。</p>							
2	健康相談	1・ 目標 を達成	指標(単位)	重点健康相談利用率（%）			・引き続き健診等の保健事業の機会やホームページ、広報紙等で周知を行い健康相談への参加を促していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	78.0	107.0	102.0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点健康相談は、テーマ別（高血圧2回、糖尿病3回、脂質異常1回）に実施</li> <li>・総合健康相談は、窓口や電話により適宜実施</li> </ul> <p>・上記取組の効果により、重点健康相談の利用率が目標値を上回る実績値となったため本評価とした。</p>							

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	このころの健康相談利用率 (%) ※このころの健康相談の利用定員に対する利用者数の割合			
3	こころの健康 づくり	1・ 目標を 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・今後も広報等で周知し、 希望者が相談できる体制を 維持する。
			目標	80	80	80	
			実績	78.3	76.0	89.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市のホームページに、こころの体温計の掲載を継続し、こころの健康づくりへの意識づけに努めるとともに、周知に努めた結果、利用率が目標値を上回ったため本評価とした。				
			指標(単位)	高齢者インフルエンザ予防接種率 (%) ※65歳以上の人のうち、高齢者インフルエンザ予防接種を受けた人の割合			
4	感染症の予 防・重症化の 防止	1・ 目標を 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・接種により、り患リスク が下がることから、接種率 の向上に向けた周知に努め ていく。
			目標	51	52	52	
			実績	55.3	57.3	53.9	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・接種日において65歳以上又は障害者手帳1級相当の60歳から64歳の市民が、委託先で接種する際の費用を一部助成（自己負担1,000円） ・インフルエンザに係るり患や流行の防止につなげるため、SNS、チラシ、広報等により制度周知を図った。  ・感染予防意識の高まりにより、目標値を上回る実績値となったため本評価とした。				
			指標(単位)	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種率 (%) ※年度末年齢65歳で接種歴のない人のうち、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を受けた人の割合			
		2・ 概ね 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・引き続き、チラシ配布、 広報紙掲載、勧奨はがきの 送付等を行うことにより対 象者への広い周知に努めて いく。
			目標	50	50	50	
			実績	47.7	37.0	42.0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内の委託医療機関の場合、国が示す定期接種対象者に加須市独自対象者を加え、年度末年齢65歳以上で接種歴のない方全員を対象に接種費用の一部を助成する。（自己負担額3,000円） ・年度末年齢が65歳となる方に接種の勧奨はがきを送付  ・新型コロナウイルス及びインフルエンザのワクチン接種が、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種より優先されたため、年度末年齢65歳の方の接種率が目標値には及ばなかったことから本評価とした。				
			指標(単位)	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種率 (%) ※年度末年齢65歳で接種歴のない人のうち、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を受けた人の割合			

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
5	骨粗しょう症 の予防	2・概ね達成	指標(単位)	骨密度測定を受診した人のうち、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性の割合(%)			<ul style="list-style-type: none"> <li>健康日本21(第三次)に合わせ、令和6年度より測定から「検診」へ移行する。</li> <li>検診への移行に当たり、対象を見直し、要精検者の受診勧奨に努め、骨粗しょう症による骨折の減少や生活機能の維持・向上に取り組んでいく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	70	70	70	
			実績	51.5	66.0	62.9	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進法に基づいた節目年齢女性に対して受診勧奨通知を実施したことにより、実績値が目標値の8割以上を達成したため本評価とした。</li> </ul>							
6	成人歯科保健 の推進	2・概ね達成	指標(単位)	自分の歯の本数(65歳以上)(本) ※成人歯科検診を受けた65歳以上の人の自分の歯の本数の平均			<ul style="list-style-type: none"> <li>8020達成に向け、引き続き、成人歯科検診を周知し、事業を実施していく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	25	25	25	
			実績	24.0	23.9	24.1	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>成人歯科検診、8020お達者歯科健診の実施</li> <li>健康講座やホームページによるお口の健康についての普及啓発の実施</li> <li>上記取組などの効果により、目標値の8割以上を達成したため本評価とした。</li> </ul>							
7	がん検診	4・大幅に遅れている	指標(単位)	肺がん検診受診率(%) ※肺がん検診の対象者数のうち、肺がん検診を受けた人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>集団がん検診不來場者への受診勧奨</li> <li>集団検診申込時に複数受診の勧め</li> <li>受診再勧奨通知の対象者拡大</li> <li>かかりつけ医からの受診勧奨</li> <li>精密検査未受診者への電話による受診勧奨</li> <li>胃リスク検診対象年齢拡充</li> <li>様々な機会を捉えて広報紙やSNS等で積極的かつ戦略的に周知に取り組む。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	50	50	50	
			実績	8.5	9.7	2.0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>個別、集団がん検診の実施</li> <li>けんしんパスポート(無料クーポン)の送付</li> <li>集団検診WEB予約、休日コールセンター実施</li> <li>未受診者への再勧奨通知</li> <li>上記の取組を実施し、令和5年度国民健康保険給付費等交付金「保健事業の評価基準」に基づく評価結果において、県内上位10位以内の2位となった。</li> </ul>							

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
8	国保健診（特定健康診査）等	3・やや遅れている	指標(単位) ①	国保健診（特定健康診査）受診率（％） ※国保検診（特定健康診査）の対象者（国民健康保険加入者で40歳から74歳までの人）のうち、国保健診（特定健康診査）を受けた人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診券の送付封筒を大きく見やすく変更</li> <li>・引き続きAIによる対象者選出、対象者に合わせた個別の受診勧奨や電話による受診勧奨を実施</li> <li>・広報やホームページを利用した勧奨や、医療機関と連携した受診勧奨を継続して実施</li> <li>・特定健康診査の受診率の向上のため、「健康診断受診率向上特別対策PT」による受診率向上に向けた全庁的な取組を実施する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	50	55	60	
			実績	34.8	34.9	38.2（暫定値）	
			<b>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月下旬に受診券を個別送付</li> <li>・図書館の貸し出しレシートへの掲載や関連図書の展示、モニター掲示</li> <li>・医療機関へのポスター掲示やチラシ配布</li> <li>・AIによる対象者選出、対象者に合わせた個別の受診勧奨</li> <li>・電話による受診勧奨</li> </ul> <p>・実績値が未確定であるため暫定値であるが、目標値の8割に達していないため、やや遅れている状態であると考えられる。</p>				
		3・やや遅れている	指標(単位) ②	後期高齢者健診受診率（％） ※後期高齢者健康診査の対象者（75歳以上の後期高齢者医療保険加入者）のうち、後期高齢者健康診査を受けた人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報やホームページを利用した受診勧奨を実施する。</li> <li>・受診勧奨として、未受診者にはがきを郵送し、受診を促していく。</li> <li>・集団検診申し込みの際に、がん検診と合わせて受診するよう勧める。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	36	37	38	
			実績	26.0	28.4	28.7（暫定値）	
			<b>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者を対象とした健康診査を実施。自己負担：なし</li> <li>診査項目：質問票、身体計測、血圧測定、診察、尿検査、血液検査（その他、医師の判断により心電図検査実施）</li> <li>・健康診査受診券の送付</li> <li>・集団健診WEB予約、休日コールセンター実施</li> </ul> <p>・健康診査の受診者数は、令和4年度の4,236人から令和5年度の4,515人に増加し、受診率も上昇したが、目標値に及ばなかったため、本評価とした。</p>				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)①	国民健康保険人間ドック受診者数(人)			
9	人間ドック・ 脳ドックの利用促進	1・ 目標を 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のり患者減少等により、受診控えが解消傾向にあることや、人間ドックを受診する方が多い高齢層の被保険者が増加傾向にあることを踏まえ、今後も受診者数の増加が見込まれる。</li> <li>・特定健康診査受診と同様に、受診率の向上を図り、医療費抑制に繋げる必要がある。</li> </ul>
			目標	800	800	800	
			実績	723	796	811	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報紙への掲載、窓口でのパンフレットによる案内、納税通知書へのチラシの同封などにより、制度の周知を図った。</li> <li>・コロナ禍の影響により令和2年以降、受診者数が落ち込んでいたが、感染状況が落ち着いたため、令和4年以降徐々に受診者数が増加。人間ドックを受診する方が多い高齢層の被保険者が増加したことや、令和4年6月に済生会加須病院が開院し、令和5年度より併診ドック利用が可能となったことで受診者数が増加（実績値は併診ドック受診者数103件を含む。）し、目標値を超えたため本評価とした。</li> </ul>				
		1・ 目標を 達成	指標(単位)②	国民健康保険脳ドック受診者数(人)			
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	58	58	35	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報紙への掲載、窓口でのパンフレットによる案内、納税通知書へのチラシの同封などにより、制度の周知を図った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着いてきており、受診者数は脳ドック単体では目標値に及ばないが、併診ドック実績値（103件）を踏まえると、目標値を超えることから本評価とした。</li> </ul>					
		1・ 目標を 達成	指標(単位)③	後期高齢者医療保険人間ドック受診者数(人)			
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	125	125	125	
			実績	127	172	232	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報紙への掲載、窓口でのパンフレットによる案内、新規加入者の保険証へのチラシの同封などにより、制度の周知を図った。</li> <li>・コロナ禍の影響により令和2年以降、受診者数が落ち込んでいたが、感染状況が落ち着いたため、令和4年以降徐々に受診者数が増加。また団塊の世代が75歳以上となり、被保険者数が増加したことや令和4年6月に済生会加須病院が開院し、令和5年度より併診ドック利用が可能となったことで受診者数が増加（実績値は併診ドック受診者数40件を含む。）し、目標値を超えたため本評価とした。</li> </ul>							
1・ 目標を 達成	指標(単位)④	後期高齢者医療保険脳ドック受診者数(人)					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	目標	35	35	35			
	実績	16	22	14			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報紙への掲載、窓口でのパンフレットによる案内、新規加入者の保険証へのチラシの同封などにより、制度の周知を図った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着いてきており、受診者数は脳ドック単体では目標値に及ばないが、併診ドック実績値（40件）を踏まえると、目標値を超えることから本評価とした。</li> </ul>							

## 第2節 高齢者の介護予防

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	要介護状態となるおそれのある高齢者の把握	1・目標を達成	指標(単位)	訪問調査により健康状態の把握を行ったひとり暮らし高齢者などの数(人)			・高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施の取組と連携し、要支援・要介護状態に陥る可能性の高い高齢者の実態を的確に把握していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	2,000	2,000	2,000	
			実績	1,930	1,997	2,135	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・後期高齢者の質問票等を活用して要介護等認定を受けていない高齢者の健康状態を把握する取組について、計画どおり実施することができ、目標を上回る実績値となったため、本評価とした。				
2	市独自の体操などを活用した介護予防の啓発	1・目標を達成	指標(単位)	介護予防に取り組んでいる65歳以上の人の割合(%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、自ら何らかの介護予防の取り組みを実践していると回答した人の割合			・健康運動指導士等の専門職と連携し、運動器の機能改善、機能向上と認知症予防に効果的な内容を介護予防教室で展開していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	40	45	50	
			実績	83.3	85.8	81.5	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・介護予防教室として、わかめ倶楽部を各圏域で実施 ・転倒予防体操(転倒無止体操)のDVDを作成し、65歳以上の希望する市民へ配布を実施  ・上記取組などの効果により、目標値を上回る実績値となったことから本評価とした。				
3	筋力アップトレーニングの普及	3・やや遅れている	指標(単位)	事業修了者数と自主活動者数(累計)(人)			・体力測定や体組成測定の結果だけでなく、生活習慣に即した目標を明確にし、より具体的な個別支援を実施していく。 ・修了生の7割以上が自主グループへ移行できるよう支援していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1,750	1,750	1,750	
			実績	1,343	1,351	1,362	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新期生に対し、体力測定の結果から、筋力トレーニングと有酸素運動の個別運動プログラムを作成し、週1回トレーニングを開催 ・修了生が自主活動グループで活動継続できるよう後方支援を実施  ・上記の取組を行ったが、新期修了者数の減少や自主活動者の高齢化により実績値が目標値の8割に及ばなかったため、本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	ふれあいサロンの設置数(箇所)			
4	通いの場(ふれあいサロン)の拡充	2・概ね達成	指標(単位)	ふれあいサロンの設置数(箇所)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者相談センターと連携し、新規ふれあいサロンの開設と継続支援を行う。</li> <li>・健康づくりサポーターの派遣及び介護予防サポーターの養成と活動支援を行う。</li> <li>・医療専門職によるフレイル予防の健康講座を実施していく。</li> <li>・地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと連携し、理学療法士による巡回支援を実施する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	132	138	144	
			実績	127	135	132	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ふれあいサロンの開設や活動の継続支援</li> <li>・介護予防サポーター及び健康づくりサポーターの活動支援</li> <li>・目標値の8割以上を達成したことから本評価とした。</li> </ul>							
5	リハビリテーション専門職との連携の推進	1・目標を達成	指標(単位)	リハビリテーション専門職との連携回数(回)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防を推進する観点から、市内の医療機関との連携を図るとともに、県の地域リハビリテーション支援制度等を活用し、引き続きリハビリテーション専門職と連携した事業の取組を実施していく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	16	18	20	
			実績	14	15	42	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型地域ケア会議や介護予防サポーター養成講座の開催、地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと連携し、ふれあいサロンへの巡回支援や筋力アップトレーニング事業の参加者に対して講義を実施したことにより、リハビリテーション専門職の参画がある取組回数が目標値を上回ったことから本評価とした。</li> </ul>							
6	多様な訪問・通所サービスの提供	3・やや遅れている	指標(単位)	訪問・通所サービスの提供事業所数・提供団体数・利用定員数の合計(箇所・団体・人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業所を確保する。</li> <li>・委託事業者による短期集中型通所サービスを市内4地域で実施する。</li> <li>・生活機能の低下がみられる高齢者への利用勧奨を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	118	137	141	
			実績	109	110	103	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業所(指定事業所)による訪問・通所サービスの実施</li> <li>・委託事業者による短期集中型サービスの実施</li> <li>・サービスを提供する事業所数の減少により、目標値の8割に達しなかったことから本評価とした。</li> </ul>							

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
7	生涯学習活動 の推進	2・ 概ね達成	指標(単位)	シニアいきいき大学受講生の受講率 (%)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成国際大学と調整、連携を図りながら、講義の内容を検討し、シニア層の市民の学習活動の場を提供していく。</li> <li>・学習後、地域のリーダーや地域ボランティア、生涯学習市民企画委員等への登用等を促進していく。</li> <li>・卒業後の自主活動サークル結成に向けた支援を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	90	90	90	
			実績	84.0	78.9	80.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・6月から2月にかけて講義を実施（2学部×10回） 受講生：社会科学部76名、人文科学部66名  ・受講率が目標値の8割以上に達したことから本評価とした。 ※令和3年度はコロナの影響で2学部とも2回で中止になり、受講率について適正な評価が困難である。				
8	スポーツ教室 の推進	3・ やや遅れている	指標(単位)	スポーツ教室への65歳以上の参加人数 (人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、65歳以上の高齢者も含め、多くの方が参加できるスポーツ教室を開催する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	130	140	150	
			実績	42	75	91	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ポッチャ体験会など、高齢者が気軽に参加できる教室を開催しており、昨年度と比較すると参加人数は増加しているが、目標に達しなかったことから本評価とした。				
9	グラウンド・ ゴルフの推進	2・ 概ね達成	指標(単位)	グラウンド・ゴルフの競技人口 (人) ※競技人口は、加須市スポーツ協会及び加須市レクリエーション協会加盟者			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きグラウンド・ゴルフの普及・推進を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1,300	1,330	1,350	
			実績	1,133	1,097	1,115	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・年間を通じて大会を開催するなど普及活動を実施し、目標値の8割に達したことから本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
10	ウォーキング の推進	1・ 目標を 達成	指標(単位)	健康づくりウォーキング大会の開催回数(回) ※市、市スポーツ協会、地区スポーツ協会主催大会の開催回数			・引き続き、関係団体と連携し事業を開催する。また、多くの市民が参加できるように工夫を凝らした事業を検討する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	14	14	14	
			実績	7	7	14	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市及びスポーツ協会が主催するウォーキング大会が市内各地で開催され、目標の開催回数に達したため本評価とした。				
11	シルバー人材 センターへの 支援	2・ 概ね 達成	指標(単位)	シルバー人材センターの会員数(人)			・引き続き、シルバー人材センターの経営安定化を図るため、運営の支援を行うとともに、①新会員の確保、②受託業務の確保、③就業機会の拡大、④会員の技能習得・向上等について、必要に応じて助言・指導等を行う。 ・多様なメニューを市民に提供することで、就業機運を高め就業希望者の掘り起こしを行う。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	900	925	950	
			実績	896	893	925	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・シルバー人材センターの運営を支援するとともに、理事会等に参加し、助言・指導・事業協力を実施した。また、シルバー人材センターの会員数が目標の9割を達成したことから本評価とした。				
12	高齢者の雇用 促進	2・ 概ね 達成	指標(単位)	セカンドキャリアセンターを活用した就職者数(人)			・引き続き、関係機関と連携し、就業支援セミナーや相談会を開催し、さらなる就業支援事業の充実を図る。 ・多様なメニューを市民に提供することで、就業機運を高め就業希望者の掘り起こしを行う。 ・令和6年度より、「埼玉しごとサポート」に名称が変更となる。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	65	65	65	
			実績	49	55	56	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・関係機関と連携し、就業支援セミナーや相談会を開催するとともに、就業支援に関する情報を市ホームページやメール配信により市民に対し広く提供した。また、セカンドキャリアセンターを活用した就職者数が目標の8割を達成したことから本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
13	世代間交流の 推進	4・ 大幅に 遅れて いる	指標(単位)	地域交流事業への一般参加者数(人)			・開催回数について、令和 5年度は28回だったが、 令和6年度は31回を予定 している。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	2,200	2,200	2,200	
			実績	0	306	700	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、当該事業の実施回数がコロナ禍前の4分の3ほどにまで増えた。しかし、感染症予防を意識し、1回当たりの定員をコロナ禍前までは戻さず実施したことにより、参加人数が目標値の5割未満となったため、本評価とした。				
14	高齢者の会食 事業などへの 支援	4・ 大幅に 遅れて いる	指標(単位)	社会福祉協議会が実施する会食などの事業への延べ参加者数(人)			・補助事業のあり方につい て、社会福祉協議会ととも に検討する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	2,240	2,240	2,240	
			実績	30	509	1,051	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・社会福祉協議会に補助金を交付し、同協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者地域交流事業」を推進したが、開催回数が46回、参加者数が1,051人に留まったことから本評価とした。				
15	元気な高齢者 のボランティア活動への参 加の促進	1・ 目標を 達成	指標(単位)	市民活動ステーションの高齢者支援活動団体登録数(団体)			・引き続き市民活動ステー ションと連携し、ボラン ティア活動団体の支援を行 うことで登録団体数の増加 に努める。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	32	33	34	
			実績	32	35	38	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市と市民活動ステーションとの連携のもと、団体からの相談や育成支援などに取り組み、高齢者支援団体数が目標値を達成したことから本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	学校応援団の登録者数(人)			
16	学校応援団への参加の推進	3・やや遅れている	指標(単位)	学校応援団の登録者数(人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々ボランティアの登録数が減少傾向にあるが、学校(園)では工夫しながら教育活動が充実するように、ボランティアを活用している。</li> <li>・今後もボランティアを活用した教育活動の充実と新規ボランティアの募集を継続していく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	4,500	4,500	4,500	
			実績	3,888	3,410	2,917	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・ボランティアの高齢化、各校における登録者の再確認等により、登録数は年々減少傾向にあることから本評価とした。							
17	生きがい農業の推進	1・目標を達成	指標(単位)	農業体験講座などへの65歳以上の人の延べ参加者数(人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係機関と連携し、各種講座等の市民への周知を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	130	135	140	
			実績	19	152	208	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンファーム加須にて、サツマイモ収穫体験、加工講座(手打ちそば、手づくりこんにゃく)を実施</li> <li>・北川辺ライスパークにて、田んぼオーナーによる各種体験、サツマイモ収穫体験、加工講座(手打ちそば、まんじゅう作り)を実施</li> </ul>							
18	老人クラブの活動支援	2・概ね達成	指標(単位)	老人クラブ加入率(%) ※60歳以上の人のうち老人クラブの会員になっている人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長のなり手不足による、休会クラブの増加を抑えるため、クラブ運営の改善や会長の負担軽減を検討する。</li> <li>・会員数を増加させるため、加入しやすいクラブ体制、運動系や文化系などそれぞれでより魅力のある活動内容を検討する。</li> <li>・休会クラブが多い地域に対しては、クラブの再開や新規立ち上げなどの働きかけを行っている。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	8	8	8	
			実績	8.0	8.0	7.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、補助金を交付するなどして活動を支援</li> <li>・事務局として、各種事業を管理運営(グラウンド・ゴルフ大会、創作展など)</li> <li>・会長の後継者不足によるクラブの休会等に伴う加入率の低下により、目標値には至らなかったため本評価とした。</li> </ul>							

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	健康福祉センター等の総利用者数(人)			
19	健康福祉セン ター等の活用	4・大 幅に 遅れ てい る	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・各健康福祉センター、大 利根総合福祉会館を高年齢 者の仲間づくりや健康づくり の場としてさらなる活用を していく。
			目標	70,500	70,500	70,500	
			実績	45,466	13,195	19,790	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<p>・高齢者の仲間づくり、健康づくりの場や、保険事業と介護予防の一体的な実施の場として、各健康福祉センターを活用</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行による、大利根総合福祉会館の営業再開に伴い、前年の実績を上回るも、目標値を大きく下回ったことから本評価とした。</p> <p>〔参考〕令和5年度総利用者数の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 騎西健康福祉センター 5,112人</li> <li>・ 北川辺健康福祉センター 4,176人</li> <li>・ 大利根健康福祉センター 3,361人</li> <li>・ 大利根総合福祉会館 7,141人</li> </ul>				

第3節 高齢者の健康づくりと介護予防の一体的な実施

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析			分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	個別支援対象者に対する保健指導の実施率(%) ※個別支援の対象とした人のうち、保健指導を実施できた人の割合		
1	高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施	2・概ね達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標	100	100	100
			実績	84.8	97.6	94.6
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・KDBシステムを活用したデータ分析と地域の健康課題の把握、重点課題の明確化及び事業評価</li> <li>・医療専門職によるハイリスク対象者への訪問、相談などの個別支援</li> <li>・ふれあいサロン等の通いの場へ医療専門職を派遣し、フレイル予防などの健康教育やフレイルチェックを実施</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の8割以上に達したため本評価とした。</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、管理栄養士、歯科衛生士、保健師等の医療専門職による低栄養、口腔機能低下、生活習慣病重症化予防に該当する者への個別支援やふれあいサロン等の通いの場を活用したフレイル予防の健康教育、フレイルチェックを行う。</li> </ul>						

## 第2章 高齢者の日常生活を支える体制づくり

## 第1節 相談支援等の体制の充実

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	高年齢者相談センターの事業評価における得点率(%) ※国が定める全国共通の評価指標に係る合計点数に対する本市の得点の割合			
1	高齢者相談センター(地域包括支援センター)の機能強化	1・ 目標を達成	指標(単位)	高年齢者相談センターの事業評価における得点率(%) ※国が定める全国共通の評価指標に係る合計点数に対する本市の得点の割合			・事業評価による得点率、高年齢者人口、高年齢者相談センターによる相談件数等を踏まえ、高年齢者相談センターの業務量の増加に配慮しながら、体制強化を図っていく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	98	98	98	
			実績	97	98	98	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国が定める評価指標を用いて、高年齢者相談センターの事業評価を実施 ・事業評価の結果を、高年齢者相談センター運営委員会に諮り、その結果を踏まえて改善に向けた指導・助言を実施 ・定期的に高年齢者相談センターとの連絡会議を開催し、情報共有を実施  ・高年齢者相談センターの得点率(平均)が目標値に達していることから本評価とした。				
2	相談窓口及び福祉サービス等の周知	2・ 概ね達成	指標(単位)	高年齢者相談センターの認知度(%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、高年齢者相談センターを「知っている」と回答した人の割合			・引き続き相談窓口や関係機関の会議等で、高年齢者相談センターを周知していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	60	65	70	
			実績	63.5	80.8	63.1	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市役所等の相談窓口において、パンフレット、ポスター等を利用して高年齢者相談センターを案内 ・高年齢者相談センター職員が高年齢者宅を訪問した際や、民生委員の会議等に参加した際に、各センターが作成したパンフレット等を用いて高年齢者相談センターを案内  ・ホームページによる周知や、関係機関・地域関係者と連携し、高年齢者相談センターを案内することにより、目標値の8割以上の実績となったことから本評価とした。				
3	地域ケア会議の活用の推進	2・ 概ね達成	指標(単位)	地域ケア会議の開催回数(回)			・高齢者の自立、要介護状態になることの予防又は要介護状態の重度化の防止に向けて、引き続き、各高年齢者相談センターが開催する地域ケア個別会議及び市が主催する自立支援型地域ケア会議を通じて、介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上及び地域課題の把握・検討に取り組んでいく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	220	220	220	
			実績	195	201	206	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・地域の関係者及び多職種(医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士及び作業療法士)の参画を得て、地域ケア会議を開催し、事例検討を行うことにより、関係者間のネットワークを構築するとともに、地域における高齢者の自立した日常生活の継続に寄与した。  ・目標とする開催回数の8割以上の開催実績があったことから本評価とした。				

第2節 高齢者福祉サービスの充実

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	敬老会への参加率 (%) ※敬老会に招待した人のうち、敬老会に出席した人(受付のみの人を含む。)の割合			
1	敬老事業の推進	3・やや遅れている	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・長寿化に伴う対象者数の増加を踏まえ、敬老会のあり方、対象年齢、開催方法等を主催者である社会福祉協議会とともに検討する。
			目標	77.0	77.7	78.4	
			実績	0.0	0.0	34.5	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			・対象者の敬老会への参加率が、目標値の8割に達しなかったことから本評価とした。 (出席者数 5,270人/招待者数 15,277人)				
2	緊急通報システムの普及	2・概ね達成	指標(単位)	緊急通報システムの設置台数(台)			・家族の就労等で日中に高齢者のみとなる世帯が増加していること等を踏まえ、令和5年度から要綱を一部改正し、対象者を拡大した。利用者数の増加に向けて引き続き周知していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	156	158	160	
			実績	132	132	134	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・広報紙において事業の周知を行い、ひとり暮らし高齢者等が緊急時に救急車を呼ぶことができる機器の貸与、定期的な安否確認や電話健康相談を実施  ・利用者の施設入所又は死亡があったものの、設置台数が目標値の8割以上に達したことから本評価とした。							
3	配食サービスの普及	1・目標を達成	指標(単位)	配食サービスの実利用者数(人)			・引き続き、必要とする人がサービスを利用できるよう事業の周知に努めるとともに、今後の適正な事業の実施方法等について検討していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	200	205	210	
			実績	233	246	220	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・自力で調理を行うことが困難な高齢者等へ食事を提供するとともに、安否確認を実施  ・利用者数が目標値を上回り、ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援を図ることができたため、本評価とした。							

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
4	コミュニティバス等による高齢者の移動支援	1・目標を達成	指標(単位)	デマンド型乗合タクシーを利用する65歳以上の市民の数(人/日)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者総数では上昇傾向にあるが、北エリアの利用については他エリアと比較し利用者数がかかなり少ないため、運行改善に向けたシミュレーションを行う。</li> <li>・引き続き、携帯端末のアプリケーションによる登録・予約についての周知を図る。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	90	90	90	
			実績	83	84	99	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・利用者数が目標値を上回り、コミュニティバス等による高齢者の移動支援を図ることができたため、本評価とした。							
5	生活困窮者等の自立の支援	2・概ね達成	指標(単位)	生活困窮課題の解決率(%) ※生活困窮に関する相談受付件数のうち解決できた相談件数の割合(%)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、支援プランを作成しているが、相談者の高齢化や相談内容の多様化・複雑化等により、複数年にわたり継続相談・支援するケースがある。</li> <li>・困窮状態が複雑化・深刻化する前に介入して早期に支援が行えるよう、関係機関との連携を密にする。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	98.0	96.9	93.8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者が自立した生活が送れるよう、支援プランを作成し、関係機関等と連携して生活基盤の調整、就労支援を実施</li> <li>・支援プラン作成までに至らない短期間での支援を含めると課題解決は全体の9割を超えていることから本評価とした。</li> </ul>							
6	介護サービスの利用に係る負担の軽減	1・目標を達成	指標(単位)	介護サービス利用者負担助成の利用率(%) ※介護サービス利用者負担助成の対象となる人のうち、利用した人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への勧奨通知を毎月送付し、申請促進を図る。</li> <li>・事業を実施している社会福祉法人やケアマネジャーに対し、制度周知を依頼し、低所得者の利用促進を図る。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	95	95	95	
			実績	97.6	96.9	95.3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・未申請者へ勧奨通知を毎月送付することにより周知を図り、支給申請を随時受け付けたことで、目標を達成することができたことから本評価とした。							

第3節 家族介護者への支援の充実

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	介護休業等制 度の周知	1・ 目標を 達成	指標(単位)	介護休業等制度の認知度 (%) ※ 窓口アンケートに回答のあった人のうち、介護休業等制度を「知っている」と回答した人の割合			・ケアラー月間等の機会を 活用し、市役所窓口やホーム ページ、広報紙等により、 介護休業等制度や家族 介護者支援に関する情報の 発信を行う。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	46.0	48.0	50.0	
			実績	49.7	70.8	54.2	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・介護休業等制度の内容をホームページで公開 ・家族介護者支援に関する相談窓口である高齢者相談センターの普及啓発 ・埼玉県が定めた「ケアラー月間」のお知らせをホームページで周知  ・上記取組などの効果により、目標値を大きく上回る実績値を達成したことから本評価とした。				
2	介護知識等の 普及及び家族 介護者の交流 の推進	1・ 目標を 達成	指標(単位)	介護者サロンなどの情報収集及び周知			・引き続き、家族介護者へ の相談に応じるとともに、 介護者サロン等の情報を周 知していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	実施	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・高齢者相談センターにおいて、家族介護者への助言や介護に関する情報提供等を実施するとともに、市ホームページにおいて、介護者サロン等の情報を周知  ・目標どおり実施することができたため本評価とした。				
3	家族介護者慰 労金の支給	1・ 目標を 達成	指標(単位)	家族介護者慰労金の延べ受給者数 (人)			・引き続き、事業の周知に 努めるとともに、今後の適 正な事業の実施方法等につ いて検討していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1,980	2,010	2,040	
			実績	2,118	2,102	2,218	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・要介護4又は5の認定を受けた高齢者を在宅で介護する家族介護者に対し、ねたきり老人等居宅介護者慰労金を支給  ・在宅で介護を行う家族介護者の支援につながり、延べ受給者数の目標値を上回る実績値を達成したことから本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	家族介護用品の利用者数(人)			
4	家族介護用品 の支給	3・ やや 遅れ て い る	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・引き続き、事業の周知に 努めるとともに、今後の適 正な事業の実施方法等につ いて検討していく。
			目標	47	49	51	
			実績	52	62	40	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅で要介護状態となっている高齢者を常時介護している介護者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給</li> <li>・核家族の高齢化により在宅介護者が減り、利用者数が目標値の8割に達しなかったことから本評価とした。</li> </ul>				

第4節 高齢者の居住支援

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
1	高齢者の安定的な生活の場の確保	1・目標を達成	指標(単位)	養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームの入所総定員数(人) ※有料老人ホームは、特定施設入居者生活介護の指定を受けていない住宅型有料老人ホームに限る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急に利用が必要となる場合に備え、適宜、入所施設における空き状況等を把握する。</li> <li>・入所措置された高齢者の身体状況等を定期的に確認し、必要に応じて介護サービスの利用につなげる。</li> <li>・県と連携し、有料老人ホーム等の必要利用定員数及び質の確保を図る。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	269	269	269	
			実績	269	269	269	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各施設において必要な定員数(目標数)を確保することが出来ていることから本評価とした。				
2	住宅改修の支援	3・やや遅れている	指標(単位)	住宅改修手続への支援件数(件)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知のため、引き続き窓口やケアマネジャー会議等で説明を行っていく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	15	15	15	
			実績	5	10	8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・住宅改修支援事業手数料の支給申請を随時受け付け、介護支援専門員等へ理由書作成手数料の支給を行ったが、目標値に達しなかったことから本評価とした。				

## 第5節 地域で高齢者を支え合う仕組みづくり

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	自治協力団体 への加入の促 進	2・ 概ね達成	指標(単位)	自治協力団体の加入率(%) ※全世帯数のうち自治協力団体に加入している世帯の割合			・引き続き、これまでの取組を継続するとともに、各自治協力団体を対象とした加入促進のための効果的な研修会を引き続き開催するなどの取組を検討する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	80.2	80.3	80.4	
			実績	78.3	77.5	75.8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市への転入世帯に対し、窓口で加入促進の資料を配布するなど加入促進活動を行った。結果として、前年度よりは加入率は若干低下したものの、目標値に近い実績値となったため、本評価とした。				
2	地域通貨を活用した地域福祉サービスの普及	3・ やや遅れている	指標(単位)	おたすけサポーターの年間活動時間数(時間) ※「ちょこっとおたすけ絆サポート券」の利用による地域支え合いサービスの年間利用時間数＝サポーターの活動時間数			・引き続き、加須市商工会や関係各課と連携しながら絆サポート事業の周知を図る。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	3,800	3,850	3,900	
			実績	2,556	2,843	2,981	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市商工会や関係各課と連携し、事業のPRを行い、目標値に対する達成割合は昨年度より上がったものの、目標値の8割に達しなかったことから本評価とした。				
3	地域ブロンズ会議の設置・活動の推進	1・ 目標を達成	指標(単位)	第2層ブロンズ会議が主体の介護予防や生活支援の具体的な取り組みが行われている地域の数(箇所)			・生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。 ・各地域ブロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換、情報提供その他当該ブロンズ会議の円滑な運営及び具体的な取組の実施のための支援を行う。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	5	8	16	
			実績	11	16	16	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・社会福祉協議会(生活支援コーディネーター)及び高齢者相談センター(地域ブロンズ会議事務局)と定期的に意見交換等を行い、移動スーパーの導入、スマホ教室及びデマンド型タクシー利用申請登録会の開催などの具体的な取組が行われている地域数が目標値に達していることから、本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	参加・実践型高齢者交通安全教室の参加者数(人)			
4	交通安全対策 の推進	4・大 幅に 遅れ てい る	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・参加者の募集方法や教室 の実施内容などについて検 討し、より多くの参加者を 募集できるように改善す る。
			目標	200	200	200	
			実績	0	76	93	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・埼北自動車学校の協力のもと、参加・実践型高齢者交通安全教室を年4回実施した。参加者数は、 当初予定していた参加者の体調不良等により、目標値を下回ったことから本評価とした。				
			指標(単位)	自主防犯組織の組織率(%) ※自治協力団体加入団体のうち、自主防犯組織を設置している自治協力団 体の割合			
5	防犯対策の推 進	2・概 ね達 成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・地域における防犯活動の 活性化を図るため、加須警 察署と連携し、講習会を実 施する。 ・自主防犯団体の組織及び 活動状況を把握するため、 定期的の実態調査を行う。 ・自主防犯組織未設立の自 治協力団体へ、引き続き、 危機管理防災課と連携し設 立依頼を行う。
			目標	82.1	86.6	91.1	
			実績	81.0	81.0	81.6	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度に新たに「東大門防災会」が設立されたものの、自主防犯組織率は目標値を下回ったことから本評 価とした。				
			指標(単位)	消費生活センターにおける消費生活相談件数(件)			
6	消費者被害の 防止	1・目 標を 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・引き続き潜在被害者及び 相談者に重点をおいた相談 体制を周知する。
			目標	590	610	630	
			実績	480	506	630	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・消費生活センターの認知度向上に努めたことにより、相談件数が目標値に達した。また相談者に適 切なあっせん、助言等ができたことから本評価とした。				
			指標(単位)				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
7	協力事業者による見守り体制の構築	2・概ね達成	指標(単位)	あんしん見守りサポート協力事業者数(社)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな協力事業者の発掘を行う。</li> <li>・ホームページ等で事業のPRを行う。</li> <li>・熱中症の危険性を意識した見守り活動の実施について、協力事業者へ依頼する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	58	59	60	
			実績	54	56	57	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・協力事業者数が目標値の9割以上に達し、通報案件については全て適切に対応・処理するとともに、熱中症の危険性を意識した見守り活動の実施について協力事業者へ依頼し、更なる協力体制の充実を図ることができたことから本評価とした。なお、協力事業者から市への報告件数は3件であった。 (参考) 過去の報告件数：令和3年度3件、令和4年度2件、令和5年度3件				
8	行方不明者の早期発見支援	1・目標を達成	指標(単位)	行方不明者情報の適正な情報共有(%) ※警察から連絡のあった行方不明者数のうち、関係部署との情報共有が図られた数の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一刻を争うことが考えられるため、迅速な事務処理に努めるとともに、関係部署との連携を密にしておく。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	100	100	100	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・届出のあった行方不明者は全て発見に至り、防災無線の放送、民生委員や自治会等への情報提供により、官民が協力して事業を行うことができたことから本評価とした。				
9	災害時要援護者への支援	1・目標を達成	指標(単位)	災害時要援護者名簿における避難援助者の登録率(%) ※災害時要援護者名簿に登録されている人のうち、避難援助者の登録がある人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿未登録者への働きかけは行っているが、登録の必要性を感じないなどの理由で登録意向がない人が固定化しつつあると考えられる。</li> <li>・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、災害時の避難に支援が必要な人の避難支援者の登録促進、地域による支援体制の構築の検討を促進する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	41	42	43	
			実績	46.0	46.8	47.1	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・引き続き民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や障害者手帳所持者への災害時要援護者制度の周知を行った結果、目標値を上回ったため本評価とした。なお、登録者の死亡数や施設入所数が新規登録者数を上回ったものと考えられ、登録者数が減少した。  ・令和5年度末 災害時要援護者名簿登録者数 6,883名(174名減) 上記のうち避難支援者の登録がある者 3,244名(60名減) …( )内は、前年度末との比較				

### 第3章 認知症の人とその家族等にやさしい地域づくり

#### 第1節 認知症に関する普及啓発・本人発信の支援

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	認知症サポーターの養成人数の累計(人)			
1	認知症への理 解の促進	2・概 ね達 成	指標(単位)	認知症サポーターの養成人数の累計(人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に認知症への理解を深めてもらえるよう、認知症地域支援推進員やキャラバンメイトとともに、認知症サポーター養成講座の実施方法、周知方法、開催場所などを検討し、計画的に講座を開催する。</li> <li>・認知症サポーター養成講座ステップアップ研修を実施する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	5,400	5,800	6,200	
			実績	5,239	5,492	5,995	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を25回実施</li> <li>・上記取組を実施し、目標値の8割以上の実績値となったことから本評価とした。</li> </ul>							
2	認知症に関する 相談体制の 周知	1・目 標を 達成	指標(単位)	認知症に関する相談窓口の認知度(%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、認知症に関する窓口を「知っている」と回答した人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き認知症に関する相談窓口の周知を図る。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	39	43	47	
			実績	53.4	73.8	53.0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各高齢者相談センターの認知症ケア相談室において、認知症の人やその家族等への相談支援を実施</li> <li>・市や高齢者相談センターのホームページにおいて、認知症に関する相談窓口を周知</li> <li>・上記取組などの効果により、目標値を上回る認知度を達成したことから本評価とした。</li> </ul>							
3	認知症の人本 人による発信 機会の拡大	4・大 幅に 遅れ てい る	指標(単位)	「本人ミーティング」の実施回数(回)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェやチームオレンジ活動の場で、本人ミーティングの取組を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1	1	1	
			実績	0	1	0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員会議において、本人ミーティングの内容や実施方法等を共有したが、実施には至らなかったため本評価とした。</li> </ul>							

## 第2節 認知症予防活動の推進

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	認知症予防体操の認知度 (%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、認知症予防体操を「知っている」と回答した人の割合			
1	認知症予防体操の普及	1・ 目標を達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・健康運動指導士等の専門職と連携し、運動器の機能改善、機能向上、認知症予防に効果的な内容を介護予防教室で展開していく。
			目標	42	46	50	
			実績	49.2	73.1	51.2	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室としてわかめ倶楽部を各圏域で実施</li> <li>・認知症予防体操（うどん体操）のDVDを作成し、65歳以上の希望する市民に配布</li> <li>・上記取組などの効果により、目標値を上回る実績値となったことから本評価とした。</li> </ul>				
2	通いの場（ふれあいサロン）の拡充【再掲】	※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.4「通いの場（ふれあいサロン）の拡充」を参照（14ページ）					
3	生涯学習活動の推進【再掲】	※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.7「生涯学習活動の推進」を参照（15ページ）					
4	スポーツ教室の推進【再掲】	※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.8「スポーツ教室の推進」を参照（15ページ）					

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
5	グラウンド・ ゴルフの推進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.9「グラウンド・ゴルフの推進」を参照（15ページ）	
6	ウォーキング の推進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.10「ウォーキングの推進」を参照（16ページ）	
7	シルバー人材 センターへの 支援 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.11「シルバー人材センターへの支援」を参照（16ページ）	
8	高齢者の雇用 促進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.12「高齢者の雇用促進」を参照（16ページ）	
9	世代間交流の 推進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.13「世代間交流の推進」を参照（17ページ）	

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
10	高齢者の会食事業などへの支援 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.14「高齢者の会食事業などへの支援」を参照（17ページ）	
11	元気な高齢者のボランティア活動への参加の促進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.15「元気な高齢者のボランティア活動への参加の促進」を参照（17ページ）	
12	学校応援団への参加の推進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.16「学校応援団への参加の推進」を参照（18ページ）	
13	生きがい農業の推進 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.17「生きがい農業の推進」を参照（18ページ）	
14	老人クラブの活動支援 【再掲】		※第1章「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」 第2節「高齢者の介護予防」のNo.18「老人クラブの活動支援」を参照（18ページ）	

第3節 認知症の人とその家族等への支援

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	認知症ケアパスによる情報提供	2・概ね達成	指標(単位)	認知症ケアパスの認知度(%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、認知症ケアパスを「知っている」と回答した人の割合			・認知症の普及啓発事業や介護予防教室実施時に、ケアパスについて市民や関係機関への周知に取り組んでいく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	23	27	31	
			実績	34.9	55.4	28.6	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市で作成している正しく知ろう認知症(認知症パンフレット)を用い、認知症の普及啓発事業や相談時においてケアパスを周知  ・上記取組などの効果により、目標値に近い実績値となったことから本評価とした。				
2	認知症地域支援推進員による支援	1・目標を達成	指標(単位)	認知症地域支援推進員会議の開催			・引き続き、定期的に会議を開催し、情報共有及び意見交換を行う。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	実施	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・認知症地域支援推進員会議を6回開催  ・認知症地域支援推進員と市担当者で市の認知症施策についての情報共有や活動内容を検討する機会を設け、目標どおり実施することができたことから本評価とした。				
3	認知症初期集中支援チームによる支援	1・目標を達成	指標(単位)	認知症初期集中支援チームによる支援によって、医療・介護サービスにつながった人の割合(%)			・引き続き各高齢者相談センターに2人ずつ認知症初期集中支援チーム員を配置する。 ・市民や居宅介護支援事業所など関係機関への周知を行う。 ・新たに認知症初期集中支援チーム員となった者を対象とした研修を実施する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	62.5	87.5	100	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・認知症初期集中支援チーム員会議の開催 ・チラシや市ホームページにより市民や居宅介護支援事業所等の関係機関に周知  ・上記取組により、目標値を達成したため本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
4	関係機関の連携による切れ目のない支援	1・目標を達成	指標(単位)	認知症に関する関係機関の連携に資する会議などの実施回数(回)			・高齢者相談センター連絡会議等で認知症疾患医療センターとの連携を推進する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1	1	1	
			実績	0	1	1	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・認知症疾患医療センターとの連携を図るため、高齢者相談センター連絡会議において情報交換を実施したため、本評価とした。				
5	成年後見制度の利用促進	1・目標を達成	指標(単位)	市長による法定後見開始の審判申立の実施件数(件)			・定期的に高齢者相談センター等の関係機関と情報共有を行い、市長申立案件があった際には、迅速に手続を進めていく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	5	5	5	
			実績	2	3	6	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・高齢者相談センター等と連携しながら、成年後見制度の利用に関する相談支援を実施し、市長申立をすべき案件が生じた場合は、申立書類を作成し、申立を実施 ・過去に市長申立を実施した案件のうち、報酬助成の申請があった案件に関しては、報酬助成を実施 ・上記対応の結果、目標値を上回る実績値を達成することができたため、本評価とした。				
6	高齢者虐待の防止	2・概ね達成	指標(単位)	高齢者虐待に関する相談通報窓口の認知度(%) ※窓口アンケートに回答のあった人のうち、高齢者虐待に関する相談通報窓口を「知っている」と回答した人の割合			・引き続き高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との情報共有を図るとともに、高齢者相談センターと連携しながら、高齢者虐待防止に関する普及啓発を実施していく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	35	40	50	
			実績	46.6	72.3	46.4	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・高齢者虐待通報を受理し、虐待状況改善に向けた支援を実施 ・高齢者虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を開催し、関係機関による情報共有を実施 ・民生委員や介護関連機関等への高齢者虐待通報窓口の周知や情報共有の依頼等を実施 ・上記対応等により、目標値の9割に近い実績値となったため、本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析			分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	行方不明になった後に保護された65歳以上の人のうち位置探索サービスなどの利用につながった人の割合(%)		
7	行方不明時の 早期発見・保 護	1・ 目 標 を 達 成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標	50	55	60
			実績	18.2	36.4	66.7
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用を希望する介護者等に位置特定端末を貸与</li> <li>・利用を希望する介護者等に行方不明高齢者等早期発見ステッカーを配付</li>   <li>・事業の周知（行方不明となるおそれのある者の家族への利用勧奨等）に努め、目標値に達したことから本評価とした。</li> </ul>			
8	防犯対策の推 進 【再掲】	※第2章「高齢者の日常生活を支える体制づくり」 第5節「地域で高齢者を支え合う仕組みづくり」のNo.5「防犯対策の推進」を参照（28ページ）				
9	消費者被害の 防止 【再掲】	※第2章「高齢者の日常生活を支える体制づくり」 第5節「地域で高齢者を支え合う仕組みづくり」のNo.6「消費者被害の防止」を参照（28ページ）				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
10	認知症の人の 社会参加の促進 (認知症カフェの普及 等)	2・概ね達成	指標(単位)	認知症カフェの設置箇所数(箇所)			・各団体等へ補助金交付の 周知を図る。 ・認知症地域支援推進員会 議において、認知症カフェ の活用などについて検討す る。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	6	7	9	
			実績	0	5	8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・認知症の人とその家族等の交流の場となる認知症カフェを開催する団体に対し、補助金を交付し、 団体への支援を行った。 ・上記取組などの効果により、目標値の8割以上の実績値となったことから本評価とした。				
11	認知症の人の 日常生活への 支援(チーム オレンジの整 備)	3・やや遅れている	指標(単位)	チームオレンジの整備数(箇所)			・認知症サポーターの実践 的な活動につなげるため、 スキルアップ講座を実施す る。 ・チームオレンジの活動を 広く周知する。 ・引き続き、新規チームオ レンジの整備に取り組む。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	1	3	6	
			実績	1	2	3	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・チームオレンジの活動を支援 ・認知症の人やその家族との対話から活動につなげていくことが重要であり、各認知症地域支援推進 員の活動を情報共有し、チームオレンジを整備 ・認知症サポーターステップアップ講座を実施  ・新たに1箇所チームオレンジが設置されたが、目標値には及ばなかったことから本評価とした。				
12	認知症の特性 を踏まえた介 護サービスの 提供・確保	3・やや遅れている	指標(単位)	認知症対応型サービス従事者の認知症介護基礎研修の受講率(%) ※認知症高齢者グループホーム又は認知症対応型通所介護の事業に従事し ている介護職員のうち、認知症介護基礎研修を修了した人の割合			・介護従事者の認知症対応 力の向上を図るため、引き 続き介護サービス事業所 に対し認知症介護基礎研修等 の受講案内を行う。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	30	60	100	
			実績	27.0	36.7	75.0	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・介護サービス事業所に対し認知症介護基礎研修の受講案内を実施したが、実績値が目標値を下回っ たことから本評価とした。				

## 第4章 在宅医療・介護サービス提供体制等の充実

### 第1節 在宅医療・介護連携の推進

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
1	在宅医療・介護連携の推進	3・ やや遅れている	指標(単位)	「北彩あんしんリング」で多職種による情報共有が行われている患者数(人)			<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携のための相談窓口の運営を引き続き北埼玉医師会に委託して実施し、高い専門性を確保するとともに、多職種研修会等の様々な機会を設定し、北彩あんしんリングの一層の普及を図る。</li> </ul>	
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標	30	35	40		
			実績	20	23	23		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】					
		・医療・介護の多職種を対象に、北彩あんしんリングの活用方法等の説明会を開催するなど、その普及啓発に努めている。多職種による情報共有が行われている患者数については、前年度と同数であり目標値の8割に満たなかったため本評価とした。						
		2・ 概ね達成	指標(単位)	「とねっと」に参加している市内の医療機関などの数(箇所)				<ul style="list-style-type: none"> <li>「とねっと」システムの終了に伴う清算業務の事務局支援を行う。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標	52	54	56		
			実績	52	53	48		
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】								
・令和5年度末で「とねっと」システムが終了したこともあり、参加医療機関の増加を図ることはできなかったが、目標値の8割に達しているため本評価とした。								

## 第2節 特別養護老人ホーム等介護施設の整備

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	特別養護老人ホームの整備(100床)			
1	特別養護老人 ホーム等介護 施設の整備	4・ 大幅 に遅 れて いる	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・整備事業者との連携を密にし、円滑に補助金交付等を行い、早期の整備に寄与する。
			目標	県協議	整備	竣工	
			実績	県協議	準備	着工	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			・高齢者支援計画に基づき、介護施設等の整備に関する相談に適切に対応し、事業者も令和5年1月着工で整備を進める予定であったが、建設資材の急激な価格高騰などの影響が大きく、工事費全体や工事スケジュールなどの見直しが行われ、契約締結が令和5年3月、工事着工が令和5年4月となり竣工までには至らなかったため、本評価とした。				

第3節 介護人材の確保及び介護業務の効率化

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	市内の介護施設などに従事する介護職員などの数(人)			
1	介護人材の確保及び資質の向上	1・目標を達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・埼玉県高齢者福祉課介護人材担当や市内の介護サービス事業所と情報共有しながら、介護人材の確保について方策を検討していく。
			目標	1,925	1,980	1,995	
			実績	1,961	2,046	2,007	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			・新規事業所や、既存事業所において目標を上回る新規人材が確保できたことにより目標値を上回る実績値を達成したことから本評価とした。				
2	介護業務の効率化及び質の向上	—	指標(単位)	「文書負担軽減に係る取組」における得点率(%) ※令和3年度保険者機能強化推進交付金に係る評価指標の「文書負担軽減に係る取組」における得点率			・介護サービス事業所の指定更新等について、電子申請への対応準備を進める。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	60	80	100	
			実績	70	50	—	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
・指定更新等に必要書類について、国の方針等を参考に提出書類の見直しを図った。							
※令和5年度は、保険者機能強化推進交付金の評価指標ではないため実績算出不可							

## 第5章 高齢者の安心安全のための災害・感染症への備え

## 第1節 災害に対する備え

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	災害に対する 備え	2・ 概ね達成	指標(単位)	自主防災組織の組織率(%) ※自治協力団体加入団体のうち自主防災組織を設置している自治協力団体の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織未設立団体に個別に連絡を行い、設立を促進する。</li> <li>・防災士養成講座を開催し、地域防災力の充実・強化を図る。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	100	100	100	
			実績	92.7	92.7	93.8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織未設立団体代表者に対し、設立に必要な書式例を作成し、自主防災組織設立に関する依頼を行い、新規で2団体設立となったが、目標値である組織率100パーセントには達しなかったことから本評価とした。</li> </ul>					
		1・ 目標を達成	指標(単位)	災害時要援護者名簿における避難援助者の登録率(%) ※災害時要援護者名簿に登録されている人のうち、避難援助者の登録がある人の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿未登録者への働きかけは行っているが、登録の必要性を感じないなどの理由で登録意向がない人が固定化しつつあると考えられる。</li> <li>・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、災害時の避難に支援が必要な者の避難支援者の登録促進、地域による支援体制の構築の検討を促進する。</li> </ul>
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	41	42	43	
			実績	46.0	47.0	47.1	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や障害者手帳所持者への災害時要援護者制度の周知を行った結果、目標値を上回ったため本評価とした。なお、登録者の死亡数や施設入所数が新規登録者数を上回ったものと考えられ、登録者数が減少した。</li> <li>・令和5年度末 災害時要援護者名簿登録者数 6,883名(174名減) 上記のうち避難支援者の登録がある者 3,244名(60名減) ( )内は、前年度末との比較</li> </ul>					
1・ 目標を達成	指標(単位)	非常災害対策が実施されている介護施設の割合(%) ※水防法又は介護保険関係法令の規定により避難確保計画又は非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施が義務付けられている市内の介護施設のうち、これらの対策が適切に講じられている介護施設の割合			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市内の全ての介護施設等で避難確保計画の策定や水害訓練が実施されるよう実施の促進を図る。</li> </ul>		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	目標	100	100	100			
	実績	100	100	100			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設等における避難確保計画の策定及び水害避難訓練の実施を促進</li> <li>・全ての介護施設等(87箇所)において、避難確保計画が策定されるとともに、水害訓練が実施され、実施結果報告書が提出されたことから本評価とした。</li> </ul>							

第2節 感染症に対する備え

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)	感染症対策が実施されている介護施設の割合(%) ※市内の介護施設のうち、感染症対策が適切に講じられている介護施設の割合			
1	感染症に対する備え	2・概ね達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・引き続き、市民に対し感染症の発生状況や市の感染症対策等の情報発信を行うとともに、介護施設における感染症対策の支援を行う。
			目標	100	100	100	
			実績	98.4	98.5	99.2	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策の実施状況について、市内の介護施設にアンケート調査を実施</li> <li>・介護施設に対する衛生用品の配布</li> <li>・介護施設に対し、国等からの感染症に関する情報を提供</li> </ul> <p>・市内のほぼ全ての介護施設において、感染症対策が適切に講じられていたことから本評価とした。</p>				

## 第6章 介護保険制度の安定的な運営

## 第1節 介護保険料の収納確保

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析			分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	介護保険料(全体)の収納率(%)			
1	介護保険料の 収納確保	2・ 概ね 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・催告書の送付のほか、電話・訪問による催告を行う。</li> <li>・滞納による介護サービスの給付制限があることを周知する。</li> <li>・第6段階以上の未納者について、差し押さえ等の滞納処分を検討する。</li> </ul>
			目標	99	99	99	
			実績	97.5	97.5	97.6	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳年齢到達者に対して保険料の口座振替推奨文書を送付</li> <li>・未納者に対して個別の納付相談を実施、また、現年度の未納分について催告書を発送</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納率が目標値の9割以上に達したため本評価とした。</li> <li>※収納率の内訳 現年度分：99.2% 滞納繰越分：6.1%</li> </ul>							

第2節 介護給付の適正化

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位) ①	委託により実施した要介護認定調査に係る結果の点検実施率 (%)			
1	介護給付の適 正化	1・目 標を 達成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・要介護認定を委託した場合については、引き続き点検を実施していく。
			目標	100	100	100	
			実績	100	100	100	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・要介護認定調査を委託した63件について、すべて点検を行ったため本評価とした。				
			指標(単位) ②				
		3・や や遅 れて いる	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・ケアプラン点検については、対象となるケースを精査しつつ点検数の確保に努める。
			目標	100	110	120	
			実績	113	86	93	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年12月から令和6年3月にかけて、市内12事業所を対象に計93件のケアプラン点検を実施したが、点検数が目標値の8割に達しなかったことから本評価とした。				
			指標(単位) ③		住宅改修費支給申請件数のうち、建築専門職が審査に関与した件数の割合 (%) ※建築専門職には、福祉住環境コーディネーター検定試験2級以上の資格を有する者を含む。		
		2・概 ね達 成	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	・住宅改修支給申請の審査については、担当職員の資格取得に係る支援等を進めていく。
			目標	10	20	30	
			実績	0	0	27.7	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年11月に、点検を実施する市職員が福祉住環境コーディネーターの資格を取得し、目標値の9割以上の割合で審査に関与したため、本評価とした。				

No	具体的な施策 または取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析				分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
			指標(単位)				
1	介護給付の適 正化	2・ 概ね 達成	指標(単位) ④	10種類ある縦覧点検の帳票のうち、縦覧点検の対象とした1年間に出力された全件の点検を実施している帳票の数(種類)			・縦覧点検については、引き続き新たな帳票に係る点検の実施に向けた準備を進めていく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	6	7	8	
			実績	6	6	6	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・縦覧点検については、例年同様に6帳票の点検を実施したことから本評価とした。				
		3・ やや 遅れ ている	指標(単位) ⑤	医療情報との突合の対象とした1年間の出力件数のうち点検した件数の割合(%)			・医療情報との突合については、国保連合会での委託では対応できないケースもあることから、これを補完する方法として職員による点検の実施に向けた準備を進めていく。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	80	85	90	
			実績	65.5	65.9	63.8	
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・医療情報との突合について、毎月、国保連合会に委託して点検を実施したが、目標値の8割を下回ったことから本評価とした。				
		1・ 目標 を 達成	指標(単位) ⑥	介護給付費通知の対象とする月数(箇月分)			・介護給付費通知については給付適正化主要5事業の1つであったが、令和6年度からは除外され任意事業として位置付けられたため、今後の取組については検討する。
			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標	3	3	3	
実績	3		4	4			
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・給付費通知について、令和6年9月に令和5年4・5月分に係る給付費通知(対象者3,956人)を、令和6年3月に令和5年10・11月分に係る給付費通知発送(対象者3,986人)を実施							